



学校だより

感謝の心が呼ぶ「人とのつながり」

20年ぶりの積雪があった2月も終わり、早いもので3月。25年度もあとわずかになりました。学校では、本年度のしめくりに取り組んでいます。次の学年への進級に向けて、6年生は卒業に向けて、悔いの無い日々をしたいと思っています。

先月の給食週間で、親子給食・感謝給食会の時に、「いただきます」「ごちそうさま」の意味として、食事に関わってくださっている方々への感謝の気持ち、食材そのものへの感謝の気持ちを大切にしようという話を子どもたちにしました。

また、先週の朝会では、ソチオリンピックで活躍した選手たちがインタビューに際して、異口同音に今まで支えてくれた方々への感謝の気持ちを表していたことをとり上げて感謝の気持ちの大切さを伝えました。



周りへの感謝の気持ちをもって接することで、周りの人とのつながりが広がり強まります。そして、周りから感謝される人になることにもつながります。

教室の中でも、家庭でも、お互いが感謝の気持ちを大切に、心のつながりをしっかりともてる子

なわとび大会



12月から、体育の授業や休み時間に練習してきたなわとび運動のまとめとして、2月6日に校内なわとび大会を行いました。

最初は、14人全員で協力して大なわとびです。高学年が回す大なわに、全員がタイミングを合わせて、次々ととんでいきました。

続いて、全校種目、下学年種目、上学年種目と、個人競技を行いました。みんな、今までの練習の成果を発揮しようと頑張るとびました。頑張るとんでいる友達への応援の声が体育館に響きました。

寒さに負けず、なわとび運動に取り組むことで、寒さに負けない体力をつけることができていると思います。なわとび大会の後は、持久走で体力作りに取り組んでいます。



3月6日は、マラソン大会を行います 応援をよろしくおねがいします



10時30分頃に学校を出発して、低学年はB&G、中学年は白石港、高学年は西ノ浦海岸入口までを往復します。

新1年一日入学

2月19日、来年度白石小学校に入学する〇〇〇〇さんを迎えて、新1年一日入学を行いました。



一緒に給食を食べて、昼休みは全校で一緒に遊びました。

午後からは、1・2年生が小学校生活の紹介をしたり、学校内を案内したりして、その後、全校でクラブ活動としておやつ作りをしました。とても楽しく過ごすことができました。

白石小学校のみんなと、1か月後に〇〇さんをお迎えするのをとても楽しみにしています。

給食週間

戦後、ユニセフから、日本の子どもたちを助けようと、脱脂粉乳や小麦粉が送られ、昭和21年に給食が始まりました。このことを記念して、1月24日を「学校給食記念日」と定め、その日を含んだ1週間を「学校給食週間」としています。白石小学校でも、この期間を中心に様々な行事を行って、給食について考えました。

1月30日、白石小フェスティバルの後、親子給食を行いました。保護者のみなさんにも、配膳から手伝っていただき、親子一緒に給食をいただきました。食後、栄養士から「朝ごはん」のはたらきや、より質のよい朝ご飯にするためのポイントについての話がありました。

文部科学省から、「早寝早起き朝ごはん」国民運動が提唱されています。朝ごはんをきちんと食べることによって、生活習慣・学習意欲や体力・気力が向上することが報告されています。子どもたちの健やかな成長のために、食を大切にしたいものです。



感謝給食会

2月20日は、給食物資の運搬でお世話になっている〇〇〇〇さん、野菜の生産でお世話になっている〇〇〇〇さん、調理員の先生、栄養職員の先生に感謝の気持ちを伝えようと感謝給食会を行いました。みんなで作ったプレゼントを渡したり、インタビューをしたりしながら、一緒に楽しく会食をしました。

給食に関わってくださっている方々が、子どもたちにとって顔見知りの方々だということは、具体的に感謝の気持ちをもつことができ、有意義な感謝給食会になりました。



親子給食

笠岡市木山捷平文学選奨授賞式

3月2日(土)に保健センターギャラクシーホールで、「笠岡市木山捷平文学選奨表彰式」が行われました。

3年生の〇〇〇〇君が白石島の伝統行事「虫送り」を書いた詩と、6年生の〇〇〇〇さんが白石踊の練習の時におばさんからほめられたことを書いた俳句が入選し、表彰されました。

〇〇〇〇さんは、俳句部門の代表として、三島市長から表彰状を受け取りました。

